

人



阿蘇地区パークボランティアの会
会長

上島 敬次 (永草)

波野郵便局勤務
趣味：登山・写真

座右の銘：「無理せず、頑張らないでのんびりと」

今月は、私たちが日頃気づかない山の中で、環境保全活動に取り組んでいるパークボランティアについて、会長の上島さんにお話をいただきました。

自然解説活動

4月～11月にかけては毎月1回ほど、阿蘇郡市内の各地を選んで観察会を開催します。例えば、5月は烏帽子岳にミヤマキリシマハイキング、8月には南阿蘇・地蔵峠にブナの観察、10月には高森・草部吉見神社の大祭にあわせて歴史探訪、11月には深葉の自然林に紅葉見物など季節・見所等を考慮して開催します。

会員が観察会ごとに自主的に案内・解説を担当をします。解説はできないという会員は、受付や参加者の手助けをします。お年寄りから子どもまで、毎回40～100人ほどの参加があり、今までに延べ100回ほど開催しましたが、いくつかのコースを選んで冊子も作成し利用いただいています。

美化清掃活動

「この活動がやりたくて入会した」という会員も少なくありません。大観峰クリーン作戦、草千里クリーン作戦などのほかに、今までにミルクロードや仙酔峽、南阿蘇など各地で精力的に行っています。

自然再生事業への協力

昨年度から環境省の自然再生事業をはじめ、阿蘇では草原再生の事業が行われ、私達はこ

力しています。農家人口の減少や高齢化で、野焼きができずに荒廃化した草原に実験地を設け、草を刈ったり、野焼きをしたりしてその後の草原の推移を研究しています。

子ども達への草原教育

子ども達との阿蘇青年の家での草泊まり作りも10年を経過しました。子どもと一緒に、小屋の材料となる毛ウソウ竹やカヤを切って運んで作ります。作りながら草原保全の仕組み、重要性なども話していきます。最近では、阿蘇に学校野外活動に来る小中学校からの要請もあり、できるだけ応じるようにしています。

「草原の道」の調査

阿蘇には、麓の農家から草原へ冬場牛馬の飼料となる干草を牛馬で運んだ「草原の道」がありました。これらのほとんどは道は、道路や交通機関の発達で利用されなくなっています。私達は、会のライフワークとして、これから「草原の道」を調査研究して残していきたいと思っています。

今までの観察会でも旧阿蘇町の小園坂、夜討坂、佃一の宮町の木落坂、片隅坂、平井坂等十数カ所の坂を踏査しました。整備されて今でも利用されている坂、荒れ放題の坂、植林・崩壊等で途切れてしまった坂など色々あります。牛馬のために歩きやすいように石畳に整備したり、水飲み場があったりして、

あなたもパークボランティアの仲間に入りませんか

阿蘇に生まれ育ち、誰よりも「ふるさと阿蘇」を愛するあなたの力が必要です。できることから協力いただければ結構ですので、ぜひ仲間にお入りください。

問合せ先：
阿蘇地区パークボランティアの会 事務局
阿蘇市黒川979-9
(財)自然公園財団阿蘇支部内
Tel: 34-2171

先人の苦勞が偲ばれます。これらの坂を大切な阿蘇の歴史遺産として、後世に残すべく今うち調査し、資料としてまとめたいと思っています。その他、貴重野生植物の保護監視活動など時期に応じて活動をしています。私達の現在の活動の礎は大滝典雄前会長の大変な努力によるものです。前会長が提案した「ゆるやかな連帯と信頼」を合言葉に、「自分自身が楽しむ活動が、長続きするボランティアの秘訣」と自覚して、愉快な楽しい仲間と活動しています。